

# Golden Week は、流れ星を観察してみよう! ~みずがめ座流星群~

毎年、春のゴールデン・ウィークには「みずがめ座 $\eta$ （エータ）流星群」が観測できます。あまり数は多くなく、観測に良い時間帯が、夜半から朝方と時刻も遅いのですが、月は新月を過ぎた頃の三日月で、水瓶座が東の空に昇ってくる頃に、西の空で地平線に沈みますので、明るさが邪魔にならず、観測には良好です。

## ● 水瓶座 $\eta$ 流星群とは? ~5/6(金)が極大日~

毎年、特定の時期に、星空の決まった位置（放射点 ※輻射点とも呼ぶ）を中心に、流れ星が出現する天文現象です。その位置（放射点）が、どの星座にあるかによって、「●●座流星群」と呼びます。

今回の流星群は、その放射点が水瓶座にあるので、水瓶座流星群と呼ばれますが、7月にも水瓶座に放射点がある別の流星群があるので、春の流星群の放射点が、水瓶座の $\eta$ （エータ）星の近くにあるので、水瓶座 $\eta$ （エータ）流星群と呼ばれます。（ちなみに夏は水瓶座 $\delta$ （デルタ）流星群と呼ばれます。）

今回は、5月6日（金）が、極大日（流れ星が一番出現するピークの日）で、その前後三日間ぐらいに、よく流れます。

しかし、秋の星座の水瓶座が5月に地平線から昇ってくるのは夜半過ぎなので、観測は午前0時から明け方まで空が明るくなる前までです。しかも東の空に低いので、南半球では観測しやすいのですが、日本では観察がしにくいです。



## ● 火星・木星・土星・金星とのコラボが見られるかも?

あまり多くの流れ星は期待できないのですが、明るい流星は1時間に10個ほどです。この時期、ちょうど火星、木星、土星と、内惑星の金星も、水瓶座付近に一直線に並んでいるので、明るく輝く惑星たちと、流れ星のコラボがみられるかもしれませんね。

## ● 流れ星は、彗星からの贈り物?

みずがめ座 $\eta$ （エータ）流星群は「ハレー彗星」と関係があります。流星群と彗星について知りたくなったら、国立天文台のHPにアクセスしてみましょう。



【国立天文台HP】 ①「流星群とは」：動画で解説  
<https://www.nao.ac.jp/astro/basic/meteor-shower.html>



【国立天文台HP】 ②「流星群の観察方法」  
<https://www.nao.ac.jp/astro/basic/obs-meteor-shower.html>

【関連授業】《3年理科 単元4 地球と宇宙》  
 【関連動画】

③「しし座流星群」 NHK for School クリップ  
[https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das\\_id=D0005402683\\_00000&p=box](https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005402683_00000&p=box)



④「太陽系の誕生」 NHK for School クリップ  
[https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das\\_id=D0005401862\\_00000&p=box](https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005401862_00000&p=box)